



よくわかる



あいちの



農林水産業



2021





# 目 次

1	食と緑が支える豊かな「あいち」をめざして	1
2	県内各地域の農林水産業	2
3	農業の概要	4
4	米・小麦・大豆	7
5	野菜	8
6	果樹・茶	10
7	花き	12
8	畜産	14
9	農業用水	16
10	林業	18
11	水産業	20
12	農林水産業の多面的機能	22
13	あいちの農林水産業を応援しよう	23
14	参考資料	24

## 用語の解説

・農業産出額	年内に生産された各農産物の生産量(自家消費を含む)から、種子・飼料などの中間生産物を控除した各農産物数量に、農家の庭先価格を乗じ、都道府県を単位として推計したもの。
・農 家	経営耕地面積が10a以上の農業を営む世帯又は調査期日前1年間における農産物販売金額が15万円以上あった世帯。
・販売農家	経営耕地面積が30a以上又は調査期日前1年間における農産物販売金額が50万円以上の農家。
・自給的農家	経営耕地面積が30a未満かつ調査期日前1年間における農産物販売金額が50万円未満の農家。
・基幹的農業従事者	農業就業人口のうち、ふだん仕事として主に自営農業に従事している者。
・認定農業者	農業経営基盤強化促進法に基づき、プロの農業者を目指して、5年後の農業経営の目標を樹立した農業経営改善計画が市町村等によって認定された農業者。地域の中心的担い手として期待されています。
・林家	保有する山林(用材、薪炭材、竹材など林産物を生育させるために用いる土地)の面積が1ha以上の世帯。
・林業従事者	年間30日以上林業、労働(伐木搬出、造林、保育、間伐、育苗、しいたけ等特用林産物生産)に従事した者。
・素材生産量	林内または山元土場において素材(丸太)生産された材積(m <sup>3</sup> )をいう。
・林業産出額	1年間の総生産額から固定資本減耗を差し引き、さらに生産・輸入品に課せられる税からの補助金を控除した額を差し引いた要素所得の額。
・海面漁業経営体	漁業及び養殖業を含む。調査期日前1年間に利潤又は生活の資を得るため販売を目的として水産動植物の採捕又は養殖の事業を行った世帯または事業所。
・内水面漁業経営体	調査期日前1年間に内水面主要魚種(ます類、あゆ、こい、うなぎ)について、利潤又は生活の資を得るために販売を目的として計画的かつ持続的に投餌または施肥を行い、養殖用または放流用種苗の養成した世帯及び事業所。
・漁業就業者	海面漁業及び養殖業を含む。調査期日現在満15歳以上で、過去1年間に 漁業の海上作業に30日以上従事した者。

# 1 食と緑が支える豊かな「あいち」をめざして

私たちの暮らしは、農林水産業の適切な営みによってもたらされる安全で良質な食料等の供給と、森林、農地、海及び川が有する県土や自然環境の保全、水源の涵養、洪水の防止などの多面的機能によって支えられています。

これらの機能を一層発揮させ、安全で安心できる豊かな暮らしづくりを進めるため、愛知県では「食と緑の基本計画」を5年毎に策定し、食と緑に関する様々な取組を進めています。

## 「食と緑の基本計画2025」がめざす姿

2025年に“実現をめざす姿”として次の2つの項目を掲げています。

- ▶ 持続的に発展する農林水産業の実現
- ▶ 農林水産の恵みを共有する社会の実現



## 施策体系と主な取組

愛知県では、「食と緑の基本計画2025」がめざす2つ姿の実現に向けて、農業者や県民の皆さんと協働・連携して以下の取組を進めています。

### 食と緑が支える県民の豊かな暮らし

#### 持続的に発展する農林水産業の実現

- (1) 意欲ある人材の確保・育成
  - ア 農業を支える多様な人材の確保・育成
  - イ 林業を支える担い手の確保・育成
  - ウ 水産業を支える担い手の確保・育成
- (2) 生産性の高い農林水産業の基盤を作る取組の充実
  - ア 新技術・新品種の開発と普及
  - イ 農林水産業を支える生産基盤の整備と環境づくり
  - ウ 産地の体制や生産設備の強化
  - エ 食の安全・安心の確保
- (3) 新たな需要を創造し持続可能な農林水産業の実現
  - ア マーケット・インの視点に立った生産・流通の改善
  - イ 農林水産物等に関する国内外での需要の開拓
  - ウ 環境との調和に配慮した持続可能な農林水産業

#### 農林水産の恵みを共有する社会の実現

- (1) 農林水産業を理解し身近に感じる活動の推進
  - ア 県産農林水産物への理解を深める取組の推進
  - イ あいちの農林漁業を応援・体験し参加する機会の提供
  - ウ 幅広い世代に対する食育の推進
- (2) 災害に強く安全で快適な環境の確保
  - ア 農山漁村の強靱化に向けた防災・減災対策
  - イ 快適な生活環境の確保
  - ウ 暮らしを支える森林・農地・漁場の整備・保全
- (3) 地域住民や関係人口によって支えられる活力ある農山漁村の実現
  - ア 地域の特性に応じた農山漁村の活性化
  - イ 多面的機能の持続的な発揮につながる活動の推進



## 2 県内各地域の農林水産業

愛知県では、多様な自然条件や名古屋市など大消費地が近いという地理的条件を生かし、それぞれの地域で特色ある農林水産業が営まれています。  
右の地図に示した愛知県を代表する品目については、次ページ以降に詳しく紹介します。

### 名古屋・尾張地域

木曾川によってもたらされた肥沃な土壌を生かし、古くから野菜の栽培が盛んです。

市街化が進んでいますが、都市近郊の産地としての特性を生かし、野菜や果樹、花きで多種多様な品目が生産されています。

また、特産のぎんなん、名古屋コーチンが有名です。

### 海部地域

木曾川のデルタ地帯に位置し、豊かな水と肥沃な土壌に恵まれた平坦な地域です。

この地域は、米の出荷が県内で最も早く、8月中旬から始まりま  
す。いちごやトマト、鉢花など、様々な品目が生産されています。  
また、弥富市を始めとする4市町村は、江戸時代からの長い歴史  
を持つ、全国有数のきんぎょの産地です。

### 知多地域

1961年に愛知用水が通水し、農業が飛躍的に発展しました。  
現在では、乳用牛、肉用牛や鶏などの畜産が大変盛んです。農  
業ではふきなどの野菜、みかん・ぶどうなどの果樹、洋らんなど  
の花き栽培も盛んです。

### 西三河地域

愛知県のほぼ中央に位置し、気候は温暖で交通の便が良く、古くから各種の産業が発展してきま  
した。矢作川を水源とする明治用水などの水利に恵まれ、米や小麦、大豆、てん茶などの栽培が盛  
んですが、施設園芸も発展し、いちじくや洋らん、カーネーションなどが有名です。

また、西尾市は全国有数の養殖うなぎの産地です。

旧額田町地域では手入れのいきとどいた人工林が多く、林業地域を形成しています。





## 豊田加茂地域

米や小麦、大豆に加え、なしなどの果樹、てん茶、鶏などの畜産が盛んです。

東部山間地域は、優良な林業地帯を形成するとともに、矢作川上流部の重要な水源地域となっています。

## 新城設楽地域

面積の88%を森林が占める中山間地域であり、スギやヒノキを中心とした豊かな森林資源が形成されています。

農地面積は4%と少ないですが、鶏や肉用牛などの畜産が盛んです。夏期の冷涼な気候を生かして生産されるシクラメンも有名です。山間部ではます類の養殖も行われています。

### 野菜

キャベツ  
トマト  
いちご  
しそ  
なす  
ブロッコリー  
ふぎ  
とうがん  
れんこん



### 米・小麦・大豆

米  
小麦  
大豆



### 花き

きく  
洋らん  
観葉植物  
ばら  
カーネーション  
シクラメン  
花き苗類



### 果樹・茶

みかん  
ぶどう  
いちじく  
なし  
かき  
筆柿  
もも  
ぎんなん  
てん茶  
せん茶



### 畜産

鶏  
豚  
乳用牛  
肉用牛  
うずら卵  
名古屋コーチン



### 水産物

あさり  
しらす  
くるまえび  
養殖うなぎ  
ぎんぎょ  
ガザミ



## 東三河地域

温暖な気候と豊川用水の恩恵に加え、交通網の整備等により、全国屈指の農業地域を形成しています。キャベツ、トマト、しそ、きく、ばら、シクラメン、うずら卵などの全国的にも有名な品目が生産されています。特に、ビニールハウスやガラス温室による野菜や花きの施設栽培が盛んです。生しいたけなどの特用林産物の生産も盛んに行われています。また、豊川市は全国有数の養殖あゆの産地であるほか、豊橋市ではうなぎ養殖も盛んです。

## 伊勢湾・三河湾・渥美外海

伊勢湾・三河湾は、木曾川、矢作川、豊川など大きな河川から豊富な栄養がもたらされ、河口付近に広がる干潟には多様な生物が生息し、古来より魚介類の宝庫として知られています。また、渥美外海に広がる大陸棚にも豊富な魚介類が生息し、豊かな漁場を形成しています。

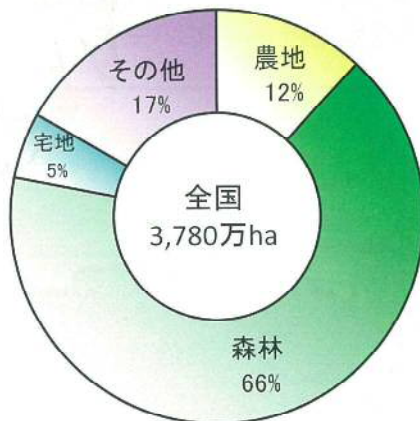
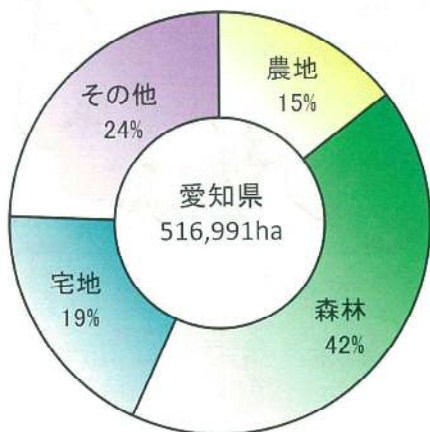
全国一の漁獲量であるあさり類を始め、全国上位を占める魚種が多く、沿岸域を中心に特色ある水産業が営まれています。



# 3 農業の概要

## ● 土地利用の状況

### 地目別面積の状況

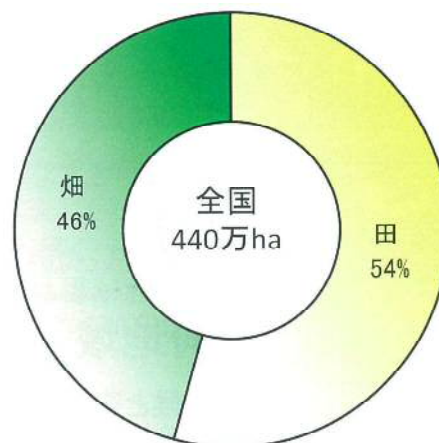
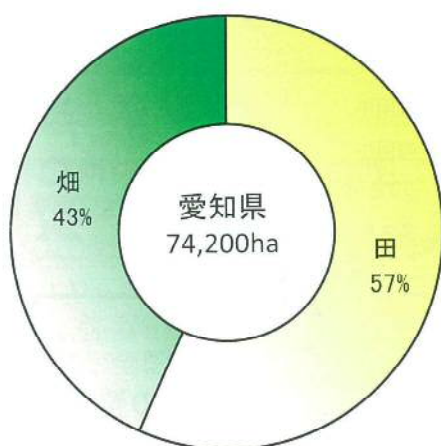


愛知県の面積は516,991haで、全国で27番目の広さです。

濃尾平野に代表される平坦な土地が広がり、総面積に占める農地の割合は全国を上回っていますが、754万人(2018年)という全国第4位の人口を有しているため、宅地の割合が農地の割合を上回っています。

国土交通省調べなどより  
(データは2018年)

### 耕地面積の状況



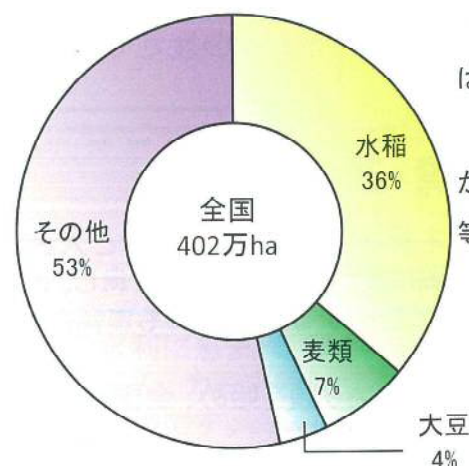
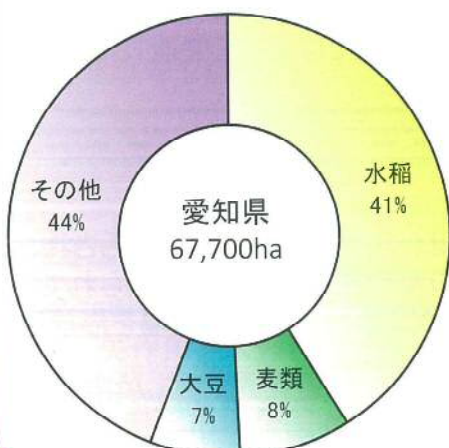
愛知県の耕地面積は74,200haで、全国で17番目の広さです。

田畑別では田42,100ha、畑32,100haで、田と畑の割合は全国とほぼ同じです。

耕地面積は、農地転用による宅地化等によって、年々減少しています。

「作物統計」(農林水産省)より  
(データは2019年)

### 作付(栽培)延べ面積の状況



愛知県の農作物作付(栽培)延べ面積は67,700haで、全国で17番目の広さです。

全国の状況と比較すると、水稲の割合が高い一方で、その他(飼肥料作物、野菜等)の占める割合が低くなっています。

「作物統計」(農林水産省)より  
(データは2019年)



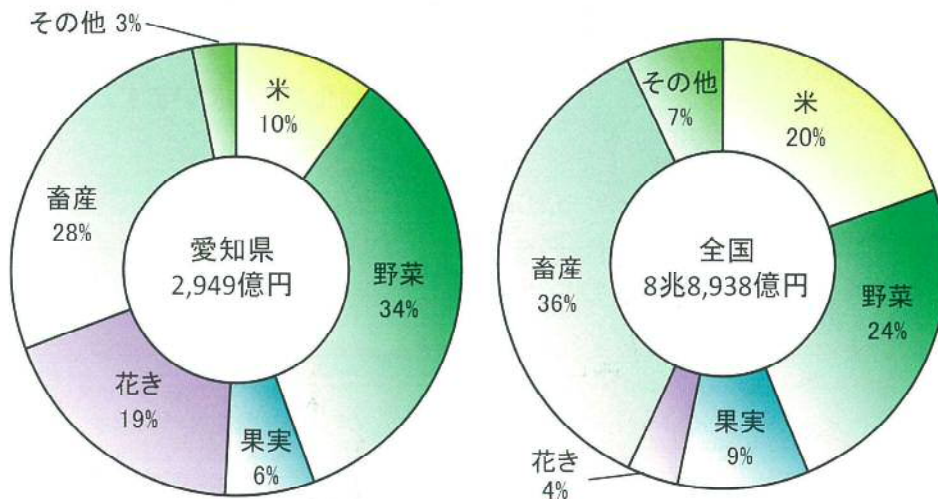
# ● 農業産出額(2019年)

## 農業産出額の上位都道府県

順位	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	農業産出額 (億円)
1	北海道	北海道	北海道	北海道	北海道	北海道	12,558
2	茨城	茨城	茨城	鹿児島	鹿児島	鹿児島	4,890
3	鹿児島	鹿児島	鹿児島	茨城	茨城	茨城	4,302
4	千葉	千葉	千葉	千葉	千葉	千葉	3,859
5	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	3,396
6	熊本	熊本	熊本	熊本	熊本	熊本	3,364
7	<b>愛知</b>	青森	青森	<b>愛知</b>	青森	青森	3,138
8	青森	<b>愛知</b>	<b>愛知</b>	青森	<b>愛知</b>	<b>愛知</b>	2,949
9	栃木	栃木	栃木	栃木	栃木	栃木	2,859
10	新潟	群馬	群馬	岩手	群馬	岩手	2,676

愛知県は、自動車や機械などの製造業が盛んで、製造品出荷額は1977年以降全国第1位です。一方、農業産出額も全国第8位と全国有数の農業県でもあり、農業と工業がバランスよく発展してきました。

## 農業産出額の作目別構成比



愛知県は、全国の状況と比較すると野菜や花きの産出額の割合が高く、果実を加えた園芸部門は産出額の59%を占め、全国より22ポイント高くなっています。特に、渥美半島の菊の電照栽培に代表されるように、ガラス温室やビニールハウスを利用した施設園芸が盛んです。

## 作目別産出額の上位都道府県

順位	米	麦類	野菜	果実	花き	肉用牛	乳用牛	豚	鶏	鶏卵
1	新潟	北海道	北海道	青森	<b>愛知</b>	鹿児島	北海道	鹿児島	鹿児島	茨城
2	北海道	栃木	茨城	長野	千葉	北海道	栃木	宮崎	宮崎	千葉
3	秋田	福岡	千葉	和歌山	福岡	宮崎	熊本	北海道	岩手	鹿児島
4	山形	佐賀	熊本	山形	静岡	熊本	千葉	千葉	茨城	岡山
5	宮城	埼玉	<b>愛知</b>	山梨	埼玉	岩手	岩手	群馬	千葉	広島
6	福島	群馬	群馬	愛媛	長野	宮城	群馬	茨城	青森	栃木
7	茨城	<b>愛知</b>	長野	熊本	茨城	長崎	<b>愛知</b>	岩手	岡山	<b>愛知</b>
8	千葉	熊本	埼玉	福島	北海道	沖縄	茨城	栃木	北海道	北海道
9	栃木	岡山	栃木	岡山	鹿児島	栃木	宮城	<b>愛知</b>	兵庫	青森
10	岩手	茨城	高知	福岡	熊本	兵庫	岡山	青森	広島	三重
愛知県	22位	7位	5位	13位	1位	19位	7位	9位	13位	7位

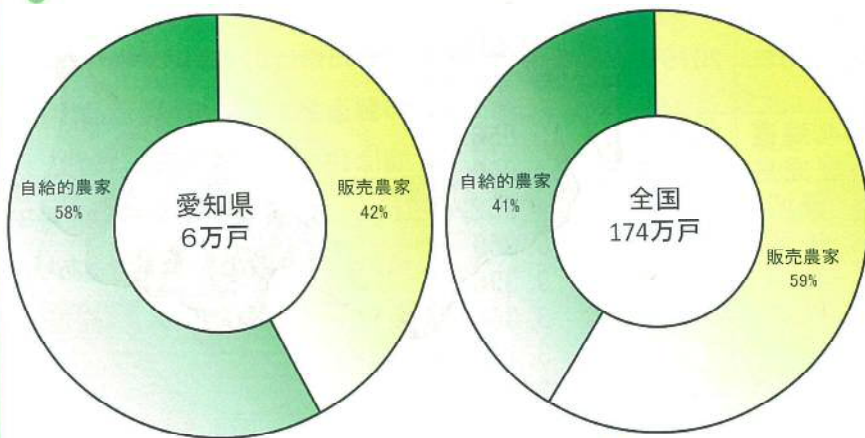
作目別の農業産出額では、花きが全国第1位、野菜が第5位です。特に花きは、全国の産出額の約17%を占め、1962年以降、第1位を続けています。その他、麦類、乳用牛、豚、鶏卵も全国の上位に位置しています。

「生産農業所得統計」  
(農林水産省)より  
(データは2019年)



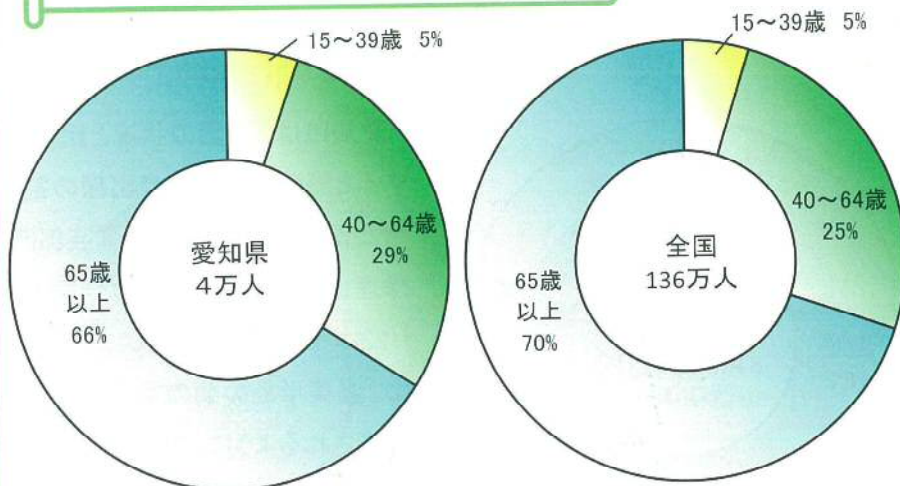
# ● 農家

## 農家の割合



愛知県の総農家数は約6万戸で、全国第6位です。全国に比べて農産物をほとんど販売しない自給的農家の割合が多くなっています。

## 年齢別 基幹的農業従事者数



愛知県の農業就業人口は、全国と同様に半数以上が65歳以上で占められており、高齢化が進んでいます。

「2020年農林業センサス 概数値」  
(農林水産省)などより

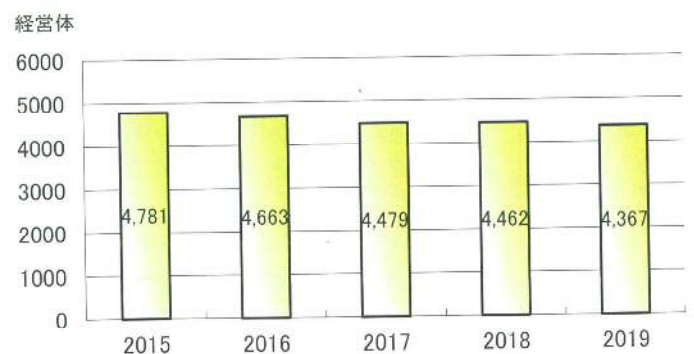
愛知県農業水産局調べ

# ● 農業の担い手

## 新規就農者数(44歳以下)の推移



## 認定農業者数の推移



愛知県の2019年度の新規就農者数(44歳以下)は、135人です。なお、最近5か年度の平均では225人となっています。また、農業経営基盤強化促進法に基づき、地域の農業の担い手として市町村から認定された認定農業者は、2019年度で4,367経営体となっています。

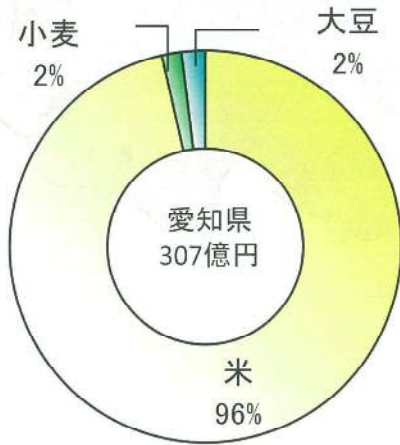


# 4 米・小麦・大豆

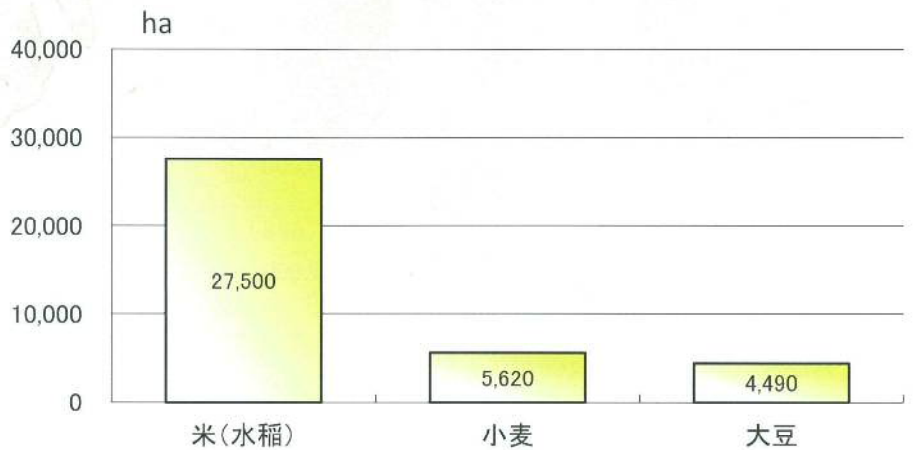
愛知県では、粒が大きく良食味の「あいちのかおり」や、おいしい米の代表である「コシヒカリ」、中山間地で主に栽培される「ミネアサヒ」など特徴ある米が栽培されています。また、県の農業総合試験場が開発した、おいしく、見た目も良いお米をブランド化する取組を推進しています。

米については、需要に応じた生産が行われており、これに対応するため、西三河地域を中心に、米・小麦・大豆を周期的に栽培する輪作が定着しています。

## 米・小麦・大豆の産出額構成比



## 米・小麦・大豆の作付面積



### 米



①産出額 296億円  
全国21位(シェア1.7%)

②作付面積 27,500ha

③主な生産地

豊田市 西尾市 安城市

④本県の米は、作期の異なる品種を組み合わせたり、直接種もみをまく直播栽培を導入したりして、作業分散や省力化が図られています。また、もっちりとして、甘みのある新ブランド米「愛ひとつぶ」の生産拡大及び認知度向上に取り組んでいます。



### 小麦



①産出額 6億円  
全国5位(シェア2.0%)

②作付面積 5,620ha

③主な生産地

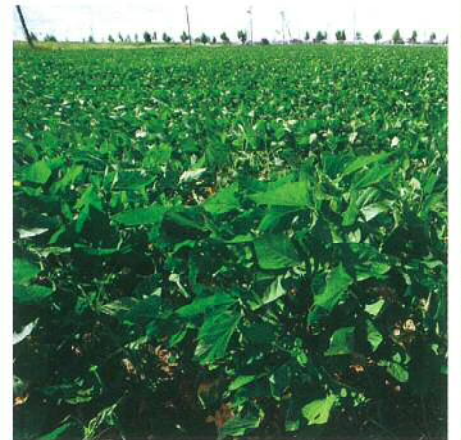
西尾市 安城市 豊田市

④本県の小麦の作付面積の約9割を占める「きぬあかり」は愛知県が開発した日本麺用の品種で、うどん、きしめん等に使用され、高い評価を得ています。

また、近年、パン・中華麺用の品種「ゆめあかり」の生産も始まりました。



### 大豆



①産出額 5億円  
全国17位(シェア1.6%)

②作付面積 4,490ha

③主な生産地

西尾市 安城市 岡崎市

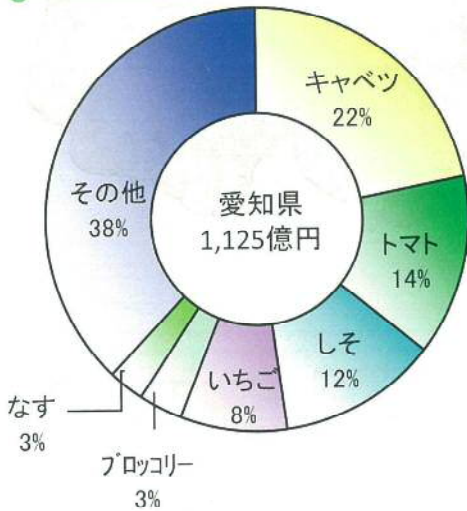
④本県の大豆は、麦の後作として西三河地域を中心に水田で、大規模省力的に栽培されています。栽培品種の「フクユタカ」は、タンパク質含量が高く、豆腐などの原料として評価を得ています。



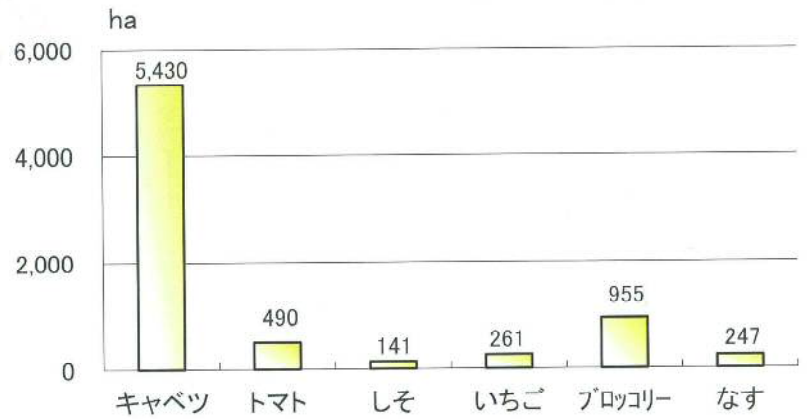
# 5 野菜

愛知県は、温暖な気候と大消費地が近いという立地条件に恵まれて、秋冬野菜を中心とした、全国屈指の野菜産地となっています。また、多くの野菜がガラス温室やビニールハウスなどの施設で栽培されています。

野菜の品目別産出額構成比



野菜の品目別作付面積



## キャベツ



- ①産出額 246億円  
全国1位(シェア23.7%)
- ②作付面積 5,430ha
- ③主な生産地  
田原市 豊橋市
- ④愛知県のキャベツ生産の歴史は、全国で最も古く、明治中期に名古屋市近郊で始まりました。その後、豊川用水の通水を契機として、東三河地域でも生産されるようになり、現在では、この地域は全国有数の大産地となっています。

## トマト (加エ・ミニトマト含む)



- ①産出額 155億円  
全国3位(シェア6.5%)
- ②作付面積 490ha
- ③主な生産地  
田原市 豊橋市 豊川市
- ④愛知県のトマト生産は、大玉、ミディ、ミニ、カラー等様々な種類が栽培されています。中でも、先端がとがった形をした「ファーストトマト」は、愛知県の特産品として根強い人気があります。また、奥三河では、授粉が不要な「あいさか2号(商品名:ルネッサンス)」が栽培されています。

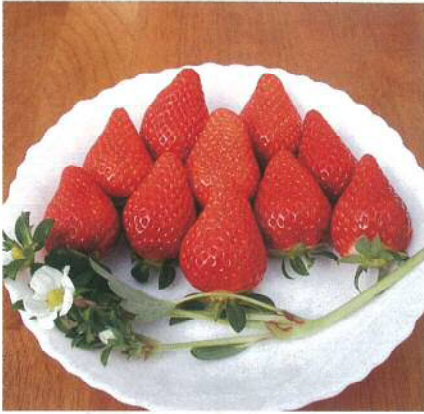
## しそ (大葉・赤じそ)



- ①産出額 137億円  
全国1位(シェア72.1%)
- ②作付面積 141ha
- ③主な生産地  
豊橋市 豊川市 田原市
- ④しそは、青じそ・赤じそに大別されます。青じそは大葉ともいわれます。愛知県では、青じその生産が盛んで、豊橋市などでは50年以上前から栽培されており、全国一の産地となっています。



## いちご



- ①産出額 92億円  
全国6位(シェア5.2%)
- ②作付面積 261ha
- ③主な生産地  
愛西市 豊川市 豊橋市
- ④愛知県のいちご栽培は、ビニールハウスなどを利用して、冬から春にかけて、生産・出荷されています。  
県が育成した「ゆめのか」をはじめ、「章姫」、「紅ほっぺ」、「とちおとめ」が主に栽培されています。

## ブロッコリー



- ①産出額 38億円  
全国5位(シェア7.8%)
- ②作付面積 955ha
- ③主な生産地  
田原市 豊橋市
- ④愛知県のブロッコリー栽培は、東三河地域で盛んに行われています。  
ブロッコリーはカリフラワー同様、キャベツの変種で、小さなつぼみの固まりと茎を食べるため、花野菜とも呼ばれています。

## なす



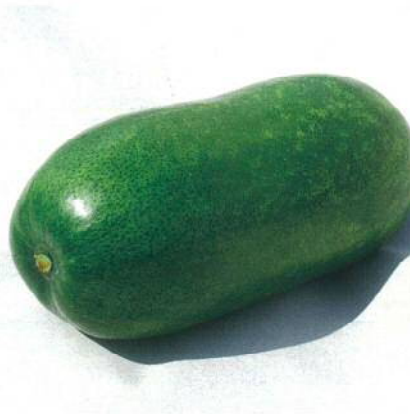
- ①産出額 31億円  
全国7位(シェア3.4%)
- ②作付面積 247ha
- ③主な生産地  
豊橋市 岡崎市 一宮市
- ④愛知県では、長卵形の品種が多く作られています。  
中でも2008年に愛知県が育成した授粉が不要で、へたにトゲがない「とげなし輝楽」が普及しています。

## ふき



- ①産出額 10億円  
全国1位(シェア37.0%)
- ②作付面積 70ha
- ③主な生産地  
東海市 知多市 南知多町
- ④知多半島を中心に明治時代の中頃から「愛知早生ふき」が栽培されており、全国に広まってきました。最近では、愛知県と経済連が共同育成した「愛経2号」もつくられています。

## とうがん



- ①産出額 3億円  
全国2位(シェア25.0%)
- ②作付面積 20ha
- ③主な生産地  
豊橋市 東海市
- ④愛知県は沖縄から導入された「琉球とうがん」の全国有数の産地となっています。一方、県内には古くから「早生とうがん」という在来品種があり、2002年度には「あいちの伝統野菜」にも選定されています。

## れんこん



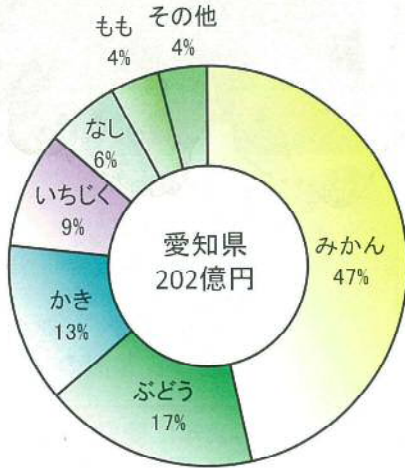
- ①産出額 14億円  
全国3位(シェア6.3%)
- ②作付面積 266ha
- ③主な生産地  
愛西市
- ④愛知県のれんこんは、木曾川の低湿地に位置する愛西市で、露地とハウス栽培を組み合わせ、一年中出荷しています。  
ビタミンC、食物繊維、カリウムを多く含み、新鮮さを保つ工夫として、泥のついた状態で出荷しています。



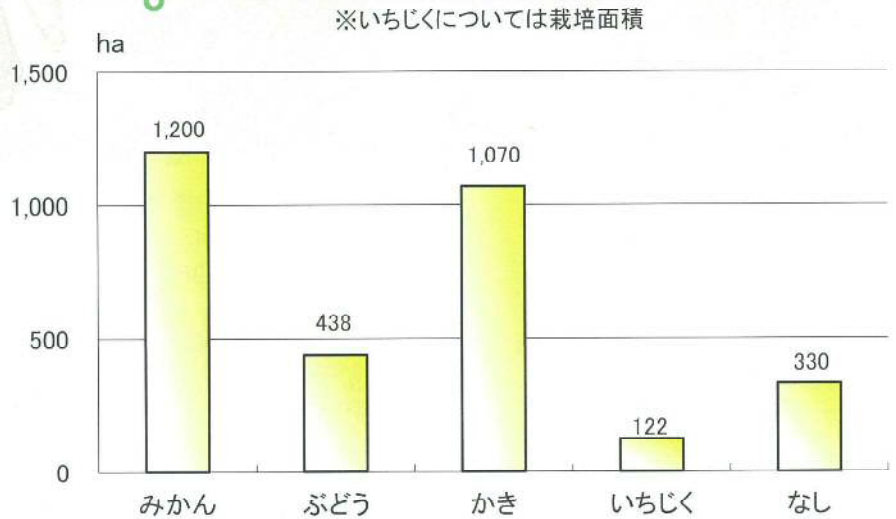
# 6 果樹・茶

愛知県の果樹の生産は、品目別では、みかんの割合が最も多くなっていますが、他にもぶどう、かき、いちじく、なしなど様々な果実が栽培されています。

果樹の品目別産出額構成比



果樹の品目別結果樹面積



## みかん



- ①産出額 94億円  
全国7位(シェア5.4%)
- ②結果樹面積 1,200ha
- ③主な生産地  
蒲郡市 東海市 南知多町
- ④愛知県は、ハウスみかんの全国有数の産地です。この栽培方法は、1969年に全国に先駆けて始まったもので、蒲郡市の「蒲郡温室みかん」、美浜町を中心とした「みはまっこ」が有名です。また、美浜町では、甘酸っぱい味の「さわみっこ」も出荷されています。

## ぶどう



- ①産出額 35億円  
全国7位(シェア2.4%)
- ②結果樹面積 438ha
- ③主な生産地  
東浦町 大府市 東海市
- ④全国的に最も栽培面積の多い「巨峰」の種なし栽培技術を初めて確立したのは愛知県です。  
愛知県には各地にぶどうの直売所や観光ぶどう狩り園があり、シーズンになると多くのお客さんで賑わいます。

## かき



- ①産出額 26億円  
全国5位(シェア6.7%)
- ②結果樹面積 1,070ha
- ③主な生産地  
豊橋市 幸田町 犬山市
- ④愛知県の主産地は豊橋市で、「次郎柿」という品種が中心となっており、深くコクのある甘みとしっかりした歯ごたえが特徴です。  
また、幸田町では、形が筆の穂に似ている「筆柿」が特産となっています。



## いちじく



- ①産出額 19億円  
全国1位(シェア29.2%)
- ②栽培面積 122ha
- ③主な生産地  
安城市 常滑市 碧南市
- ④いちじくは、安城市や碧南市を始め県内各地で栽培され、全国有数の産地となっています。1985年から低温流通システムが導入され、新鮮でよく熟したおいしいいちじくが食卓へ届けられています。

## なし



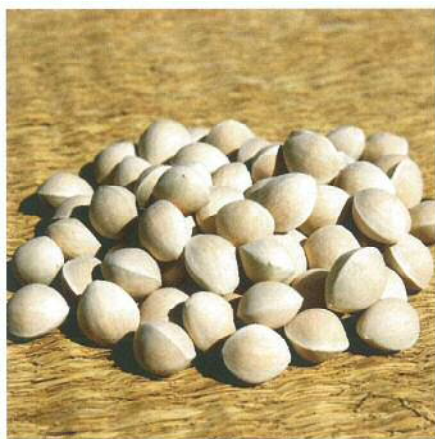
- ①産出額 12億円  
全国18位(シェア1.7%)
- ②結果樹面積 330ha
- ③主な生産地  
豊橋市 安城市 豊田市
- ④なしは安城市、豊田市、豊橋市などで栽培され、愛知が誇る果物の一つとなっています。「幸水」を始め、ジャンボ梨の愛称で親しまれる「愛宕(あたご)」、愛知県が育成した「欽月」などの品種が栽培されています。

## もも



- ①産出額 8億円  
全国8位(シェア1.4%)
- ②結果樹面積 —
- ③主な生産地  
小牧市 豊田市 春日井市
- ④現在栽培されているももは、明治時代に欧米や中国から入ったものが品種改良されたものです。愛知県では、果肉が柔らかく、みずみずしい「白鳳」が最も多く栽培されており、7月中旬から下旬にかけて出回ります。

## ぎんなん



- ①産出額 2億円  
全国1位(シェア33.3%)
- ②栽培面積 61ha
- ③主な生産地  
稲沢市
- ④ぎんなんは、稲沢市祖父江町一帯で、古くから、強風を防いだり、火災時の延焼を防ぐ目的で植えられていました。町内には樹齢100年を超える大木があちこちにあり、晩秋ともなると黄金色に染まった美しい風景が広がります。

## 茶



- ①産出額 20億円  
全国8位(シェア2.4%)
- ②栽培面積 517ha
- ③主な生産地  
西尾市 新城市 豊田市
- ④愛知県では、西尾市、豊田市で主に「てん茶(抹茶の原料)」が生産され、新城市、豊橋市、田原市で主に「せん茶(お茶)」が生産されています。愛知県では、「せん茶」より「てん茶」の生産量が多いという特色があり、全国有数の「てん茶」の産地となっています。

## 食と花の街道

愛知県では、県産の農林水産物を活用し、食や花をテーマとして、地域活性化と観光振興に取り組む地域を「食と花の街道」として認定し、その魅力を広くPRしています。

現在17街道が食と花の街道として認定されており、その中には「かにえ 白いちじく街道」、「祖父江ぎんなん街道」、「西尾の抹茶街道」なども含まれています。

それぞれの街道でおすすめの時期やグルメマップをまとめているので、気になる街道を訪れてみてください。



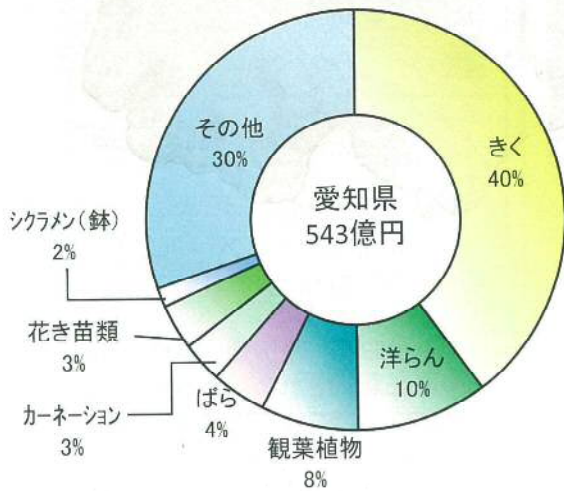
←Webページはこちら



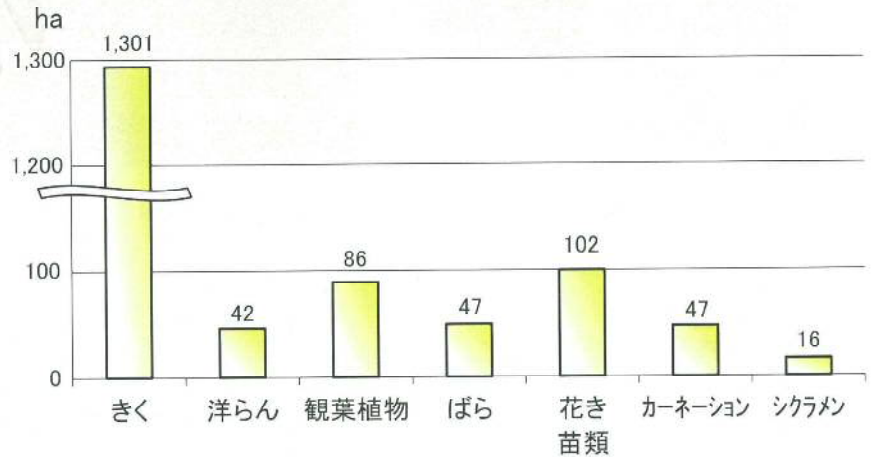
# 7 花き

愛知県の花きの生産は、品目別では、きくの割合が最も多く、全国有数の産地となっています。また、洋らん、観葉植物、ばらなどの生産も盛んです。愛知県では、多くの花きがガラス温室やビニールハウスなどの施設で栽培されています。

花きの品目別産出額構成比



花きの品目別作付(収穫)面積



## きく(切花)



- ①産出額 216億円  
全国1位(シェア35.2%)
- ②作付面積 1,301ha
- ③主な生産地  
田原市 豊川市
- ④夜に光をあてることで、開花を本来の時期よりも遅らせる電照栽培は、愛知県で開発された技術で、全国に広く普及しています。  
また、県の農業総合試験場では、「かがり弁」と呼ばれるフリルのような花びらが特徴のきくを開発するなど、生産者と協力してきくの育種もしています。

## 洋らん(鉢物)



- ①産出額 55億円  
全国1位(シェア15.6%)
- ②収穫面積 42ha
- ③主な生産地  
豊橋市 西尾市 東海市
- ④愛知県では、シンビジウム、ファレノプシス(コチョウラン)、デンドロビウムなど多くの種類が栽培されています。  
中でもファレノプシス(コチョウラン)は、花言葉が「幸せが飛んでくる」となっており、開店祝いや結婚祝いに贈り物としてよく使われています。

## 観葉植物(鉢物)



- ①産出額 41億円  
全国1位(シェア33.6%)
- ②収穫面積 86ha
- ③主な生産地  
田原市 西尾市 岡崎市
- ④観葉植物とは、葉をみて楽しむ植物のうち、通常は屋外で越冬しないものを言います。  
以前は業務用の需要がほとんどで、貸し鉢(レンタル)として使われていました。現在は、家庭用の需要が中心で、小さい鉢物やミニ観葉植物も増えています。



## ばら(切花)



- ①産出額 23億円  
全国1位(シェア14.0%)
- ②作付面積 47ha
- ③主な生産地  
豊川市 西尾市 田原市
- ④愛知県のばら生産は、東三河地域を中心に全国一の産出額を誇っています。多くの品種が育成され、様々な花色や、「スプレー」と呼ばれる一つの枝にたくさんの花を咲かせるものなども出回っています。

## カーネーション(切花)



- ①産出額 17億円  
全国2位(シェア16.5%)
- ②作付面積 47ha
- ③主な生産地  
西尾市 田原市 碧南市
- ④毎年5月第2日曜日の母の日に向けて、生産のピークを迎えるカーネーションは品種が非常に多く、赤色や白色の一輪咲きを始め、様々な花色や「スプレー」と呼ばれる咲き方のカーネーションなどが花屋に並びます。

## 花き苗類



- ①産出額 19億円  
全国2位(シェア6.3%)
- ②作付面積 102ha
- ③主な生産地  
一宮市 春日井市 稲沢市
- ④花壇用としてガーデニングブームを背景に生産が増え、愛知県は全国有数の産出額を誇っています。一年を通じて、非常に多くの種類が出回ります。

## シクラメン(鉢物)



- ①産出額 8億円  
全国1位(シェア11.0%)
- ②収穫面積 16ha
- ③主な生産地  
豊川市 田原市 設楽町
- ④シクラメンは、冬の室内を華やかに飾る代表的な花で、贈答用から家庭での利用まで幅広いニーズがあります。日によく当て、傷んだ花は早めに摘み取るなど、こまめに手をかけてやれば、桜の咲く頃まで花を楽しむことができます。

## 花の王国あいち

愛知県は、花き産出額において1962年以降57年連続で日本一を誇る「花の王国あいち」であり、2018年の花き産出額は543億円と、第2位の千葉県の2倍以上となっています。

順位	都道府県名	産出額	全国シェア
1	愛知県	543億円	16.3%
2	千葉県	193億円	5.8%
3	福岡県	172億円	5.2%
4	埼玉県	160億円	4.8%
5	静岡県	157億円	4.7%



愛知県では、県民の皆さんに「花の王国あいち」であることを知っていただくため、2015年度にシンボルマークを作成し、花きの生産・流通・小売等の関係団体と連携しながらPR活動を進めています。

花の王国あいちのWebページでは、フラワーイベントの情報やあいちの花にまつわる小話なども掲載しています。ぜひチェックしてみてください。



↑2020年度に開催された花マルシェの様子

←Webページはこちら